

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

⚠ 注意

<p>お手入れについて</p>	<p>分解しないでください</p>
<p>本体やバンドは吸湿性のよい柔らかい布でふいて、いつも清潔にご使用ください。汚れたままにしておくと、変色や破損、皮膚のかぶれの原因となります。 万一、本機使用により皮膚がかぶれたときは、そのバンドの使用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。</p>	<p>本機を分解しないでください。本機が故障したり、ケガをする原因となる場合があります。</p>
<p>ステンレス製のバンドの場合、汚れからサビが発生し、衣服の袖を汚すことがあります。</p>	<p>データ控を作ってください</p> <p>記憶させた内容は、ノートなどに書くなどして、本機とは別に、必ず控えを残してください。 本機の故障、修理や電池消耗により、記憶内容が消えることがあります。</p>

目次

安全上のご注意1
 デモ表示について3
 操作のしくみと表示の見方4
 ライト点灯について5
 エマージェンシーコードを見る6
 名前部・数字部の入力のしかた7
 Contact codeモードの使い方10
 IDモードの使い方12

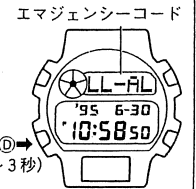
Vital statisticsモードの使い方15
 時刻・カレンダーの合わせ方18
 アラーム・時報の使い方19
 ストップウォッチの使い方22

製品仕様23
 ご使用上の注意24
 お手入れについて25
 電池交換について26

■ デモ表示について

本機は工場出荷時に「デモ表示」に設定してあります。デモ表示ではエマージェンシーコードを表示し続けます。(この間、通常のボタン操作はできません。)

- デモ表示の解除
 ①ボタンを約3秒間(確認音が鳴るまで)押し続けます。
- デモ表示の設定
 解除するときと同様に①ボタンを約3秒間押し続(2~3秒)けます。



操作のしくみと表示の見方 ①ボタンを押すごとにモードが切り替わります。

時刻・カレンダーモード

グラフ表示 曜日

★グラフ表示...現在時刻の秒に合わせて1秒ごとに点灯/不点灯します。

★曜日の見方

SUN	日	MON	月	TUE	火	WED	水
THU	木	FRI	金	SAT	土		

★エマージェンシーコード表示
 ①ボタンを押すと、エマージェンシーコードを順番に表示します。
 (表示内容については6ページ参照)

Contact code モード

モードマーク

IDモード

モードマーク

ストップウォッチモード

モードマーク

■ ライト点灯について

どのモードでも、①ボタンを押すと文字板が約3秒間発光します。

※文字板発光中に①ボタンを押すと、その時点から引き続き約3秒間発光します。ただし、①ボタンを1~2分以上押し続けると、自動的にライトが消えます。



〈ご注意〉

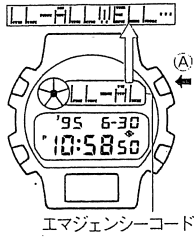
- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のために時計内部のELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

エマージェンシーコードを見る

時刻・カレンダーモードのとき、

Ⓐボタンを押します

→上段曜日表示部に、エマージェンシーコードを表示します。



エマージェンシーコード

※エマージェンシーコードを表示後、自動的に曜日表示に戻ります。
 ※エマージェンシーコードを表示中にⒶボタンを押すと、その時点で曜日表示に戻ります。

＜注意事項＞

- 本機に表示されるエマージェンシーコードは右記出典より抜粋（一部省略）したものです。なお、右記出典の付属書改定時に“Ground-air visual signal code”の内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
- “Ground-air visual signal code”は、何らかの方法で地上などに記号をつくり、航空機にその意味を伝える手段です。数ある遭難信号のうちの1つであり、“Ground-air visual signal code”のみで遭難を知らせるものではありません。

●エマージェンシーコードについて
 本機に表示されるエマージェンシーコードの内容と意味は以下の通りです。

記号	意味	和訳例（参考）
LL	- ALL WELL	総員異常なし
I	- REQUIRE DOCTOR (-SERIOUS INJURIES) ※()内本機では省略	医師を必要とする (重傷)
X	- UNABLE TO PROCEED	前進不能
K	- INDICATE DIRECTION TO PROCEED	前進すべき方向を指示せよ
F	- REQUIRE FOOD AND WATER	食料、水を必要とする
JL	- NOT UNDERSTOOD	理解不能

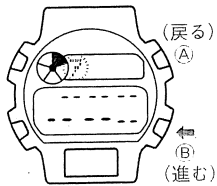
※出典：THE CONVENTION ON INTERNATIONAL CIVIL AVIATION ANNEX 12 SIXTH EDITION AMENDMENTS 11 [SEARCH AND RESCUE] “Ground-air visual signal code” (国際民間航空条約 第12付属書 第6版 改訂11号「捜索救難」)

■名前入力のかた

(1) 各モードの名前入力表示のとき、

ⒷまたはⒶボタンを押します

→点滅箇所に表示されますので、入れたい文字を選びます。
 Ⓐ・Ⓑボタンとも押し続けると、文字が早く進みます。



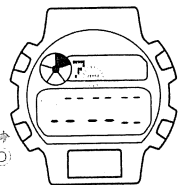
(例：Contact codeモードのとき)

(2) 文字を選んだら、

Ⓓボタンを押します

→点滅箇所が右に1つ移動します。

Ⓓボタンを押し続けると、点滅が早く動きます。Ⓓ



上記(1)～(2)を繰り返して名前を入力していきます。

名前部、数字部の入力のかた

■名前部（文字）の入力

本機はContact codeモード、IDモード、Vital statisticsモード(“NAME”のみ)の名前(メモ)部に、文字入力ができます。

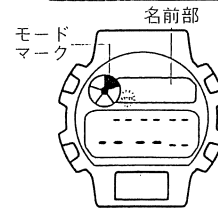
※Contact codeモード、IDモードには最大8文字、Vital statisticsモードのNAMEには最大20文字まで文字入力ができます。

※入力できる文字は、カタカナ(ア～ン、ア・ヤ・ッなどの小文字、・、°)、アルファベット(A～Z)、数字(0～9)、記号(-、/、:、空白)です。

●名前部入力時の表示

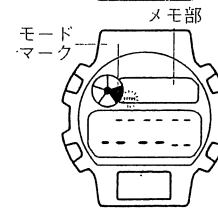
入力表示するには、各モードの「データ入力」をご覧ください。

Contact codeモード



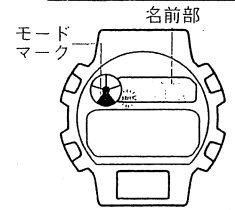
(→10ページ)

IDモード



(→12ページ)

Vital statisticsモード (“NAME”のみ)



(→15ページ)

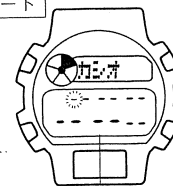
■番号部（数字）の入力

本機はContact codeモードの電話番号部、IDモードの番号部に、最大12桁までの数字を入力できます。

●番号入力時の表示

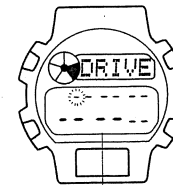
入力表示するには、各モードでの「データ入力」をご覧ください。

Contact codeモード



電話番号部 (→10ページ)

IDモード



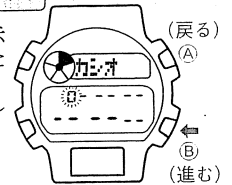
番号部 (→12ページ)

■番号入力のかた

(1) 各モードの番号入力表示のとき、

ⒷまたはⒶボタンを押します

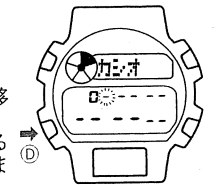
→点滅箇所に数字が表示されますので、入れたい数字を選びます。
 Ⓐ・Ⓑボタンとも押し続けると、数字が早く進みます。



(2) 数字を選んだら、

Ⓓボタンを押します

→点滅箇所が右に1つ移動します。
 Ⓓボタンを押し続けると、点滅が早く動きます。



上記(1)～(2)を繰り返して番号を入力していきます。

※数字が点滅したまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。
 ※12桁すべて入力すると自動的に点滅箇所が名前部に移動します。

Contact codeモードの使い方

ⓐボタンを押して、Contact codeモードにします。Contact codeモードに切り替えると、前回最後に選んだデータを表示します。

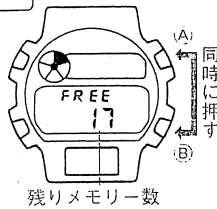
Contact codeモードとは
名前と電話番号を同時に記憶できる機能です。本機は、名前8文字、電話番号12桁を最大20件*まで記憶できます。
*記憶件数は、「IDモード」のデータと合わせて最大20件となります。(例えば「IDモード」でデータを3本記憶しているときは、Contact codeのデータは最大17本まで記憶できます)

データを入力すると、名前順に並び変わりますので、データを探るときにたいへん便利です。(11ページ「データの呼び出し」参照)

残りメモリー数の確認

ⓐまたはⓑボタンを同時に押します

ⓐ・ⓑボタンを押している間、残りメモリー数を表示します。
*工場出荷時に「IDモード」であらかじめ3本使用している(12ページ参照)ため、ご購入後すぐの残りメモリー数は17になります。



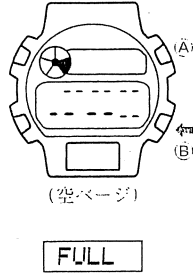
残りメモリー数

データ入力

(1) 空ページを探す

ⓐまたはⓑボタンを押します

※空ページがないときは、名前前に「FULL」と表示されます。これ以上記憶できませんので、不要なデータを消してから、データ入力を行ってください。(11ページ「データの消去」参照)

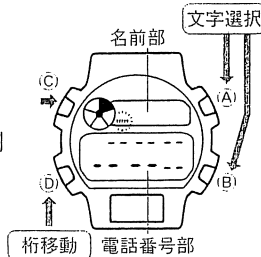


(空ページ)

(2) 入力表示にする

ⓒボタンを押します

7ページ「名前部の入力」を参照して名前を、9ページ「番号部の入力」を参照して電話番号を入力します。



10

IDモードの使い方

ⓐボタンを押して、IDモードにします。IDモードに切り替えると、前回最後に選んだデータを表示します。

IDモードとは
パスポート、免許証、クレジットカードなどの番号を最大20件*まで記憶できる機能です。各項目の後に最大8文字までメモを記憶することもできます。
*記憶件数は、「Contact codeモード」のデータと合わせて最大20件までとなります。(例えば「Contact codeモード」でデータを3本記憶しているときは、IDデータは最大17件まで記憶できます)

データを入力すると、項目別に並び変わりますので、データを探るときにたいへん便利です。(14ページ「データの呼び出し」参照)

残りメモリー数の確認

ⓑまたはⓐボタンを同時に押します

ⓐ・ⓑボタンを押している間、残りメモリー数を表示します。

※工場出荷時に「IDモード」であらかじめ3本使用している*ため、ご購入後すぐの残りメモリー数は17になります。



残りメモリー数

*工場出荷時に、IDモードで入力できる項目(PASSPORT、LICENSE、CREDIT)があらかじめ1つずつ入力されています。必要ないときは、それぞれの項目を消すこともできます。(14ページ「データの消去」参照)

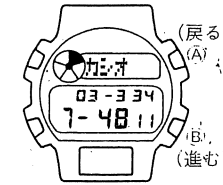
(3) 入力を終わる

ⓒボタンを押します

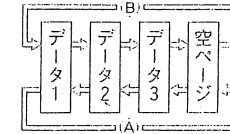
→ 点滅が止まり、入力したデータを表示します。
※名前を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。
※続けてデータを入力したいときは、(1)~(3)を繰り返し行ないます。
※入力したデータは名前順に並び変えられます。

データの呼び出し

ⓐまたはⓑボタンを押します



※ⓑボタンを押すごとに名前順に進み、ⓐボタンを押すごとに逆方向に進みます。いずれも押し続けると早く進みます。



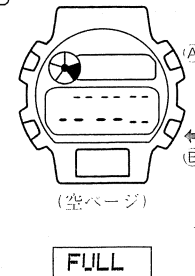
※データを3本入力しているとき

データ入力

(1) 空ページを探す

ⓐまたはⓑボタンを押します

※空ページがないときは、メモ部に「FULL」と表示されます。これ以上記憶できませんので不要なデータを消してから、データ入力を行ってください。(14ページ「データの消去」参照)

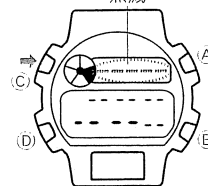


(空ページ)

(2) 入力表示にする

ⓒボタンを押します

→ “-----” が点滅します。



データの修正

- (1) ⓐまたはⓑボタンを押して、修正したいデータを探します。
- (2) ⓒボタンを押して、入力表示にします。
- (3) 修正したい部分まで点滅を送り、文字(数字)を修正します。
- (4) 修正後、ⓒボタンを押します。

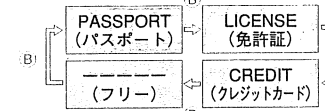
データの消去

- (1) ⓐまたはⓑボタンを押して、消去したいデータを探します。
- (2) ⓒボタンを押して、入力表示にします。
- (3) ⓐ・ⓑボタンを同時に押します。
※確認音が鳴り、データが消去されます。このとき引き続き他のデータを入力することができます。
- (4) 修正後、ⓒボタンを押します。

(3) 項目を選ぶ

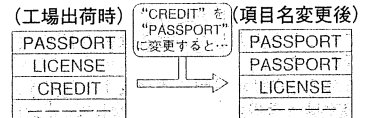
ⓑボタンを押します

ⓑボタンを押すごとに以下の順で項目が変わりますので、入力したい項目を選びます。



※ⓐボタンを押すと逆方向に進みます。
※ⓐ・ⓑボタンとも、押し続けると早く進みます。

- (参考~使用しない項目名は~)
本機にはあらかじめ3つの項目名(PASSPORT、LICENSE、CREDIT)が入力されています。使用しない項目名があるときは、以下の手順で他の項目名に変えることができます。
- (1) ⓑボタンで使用しない項目名を選んでから、ⓒボタンを押します。
 - (2) ⓑボタンを押して、変えたい項目名を選びます。
 - (3) ⓒボタンを押して、点滅を止めます。



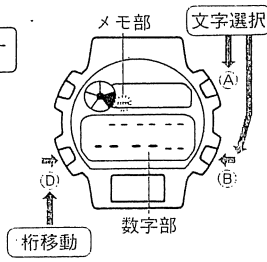
※なお、不必要な項目は14ページ「データ消去」により消すこともできます。

11

(4) 入力始める

① ボタンを押します

→メモ1桁目が点滅します。7ページ「名前を入力」を参照してメモを、9ページ「番号部を入力」を参照して数字をそれぞれ入力します。



※メモに文字を入力しないときは①ボタンを何回か押し、数字部を点滅させます。

(5) 入力を終わる

③ ボタンを押します

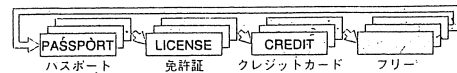
→点滅が止まり、入力したデータを表示します。

※メモ部を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。※続けてデータを入力したいときは、上記(1)~(5)を繰り返さないでください。※入力したデータは項目順に並び替えられます。※項目内ではメモの頭文字から比較して、「空白→カタカナ(50音順)→アルファベット→数字→記号」の順で並べられます。

データの呼び出し

② または④ ボタンを押します

→②ボタンを押すごとに項目順に進み、④ボタンを押すごとに逆方向に進みます。いずれも押し続けると早く進みます。



データの修正

- (1) ④ または② ボタンを押して、修正したいデータを探します。
(2) ③ ボタンを押して、入力表示にします。
(3) 修正したい部分まで点滅を送り、文字(数字)を修正します。
(4) 修正後、③ ボタンを押します。

データの消去

- (1) ④ または② ボタンを押して、消去したいデータを探します。
(2) ③ ボタンを押して、入力表示にします。
(3) ④・② ボタンを同時に押します。
※確認音が鳴り、データが消去されます。このとき引き続き他のデータを入力することができます。
(4) 消去後、③ ボタンを押します。

Vital statisticsモードの使い方

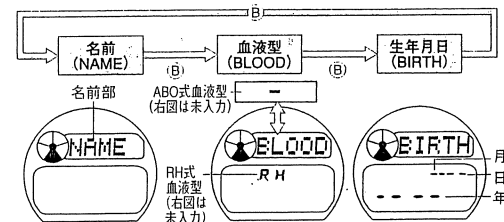
① ボタンを押して、Vital statisticsモードにします。Vital statisticsモードに切り替えると、「NAME」を表示します。

Vital statisticsモードでは、自分の名前(最大20文字)、血液型(ABO式/RH式)、生年月日を記憶できます。※Vital statisticsモードには、自分のデータのみを入力してください。他人のデータを入れたり、自分のデータを入れた時計を他人に貸したりしないでください。※電池を交換すると、入力したデータはすべて消えてしまいます。電池交換後は再度データを入力してください。

各データの呼び出し

② ボタンを押します

→ ② ボタンを押すごとに以下の順で表示が変わります。※④ ボタンを押すと、逆方向に進みます。

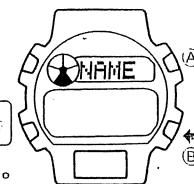


データ入力 <名前入力>

(1) データを選ぶ

② または④ ボタンを押します

→ 「NAME」表示を選びます。

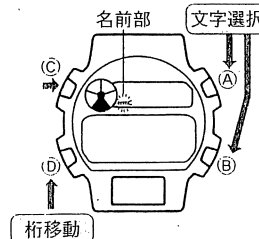


(2) 入力表示にする

③ ボタンを押します

→名前部が点滅します。

7ページ「名前部の入力」を参照して名前を入力します。※入力表示のとき、④・② ボタンを同時に押すと、入力した名前が消えます。



(3) 入力を終わる

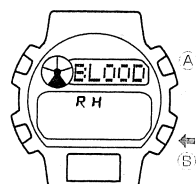
③ ボタンを押します

→点滅が止まり、入力した名前を表示します。※名前を6文字以上入力したときは、文字が横に流れる「スクロール表示」となります。※点滅表示のまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

<血液型入力>

(1) データを選ぶ

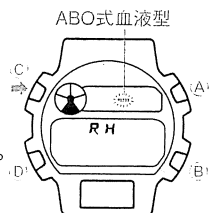
② または④ ボタンを押します



→ 「BLOOD」表示を選びます。※上段に「ABO式」、下段に「RH式」血液型を表示します。未入力の際は上段に「-」、下段に「RH」のみを表示します。

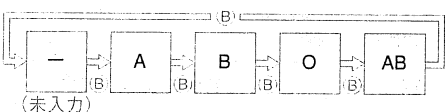
(2) 入力表示にする

③ ボタンを押します



→ ABO式血液型が点滅します。

② ボタンを押すと、以下の順で変わります。表示したい血液型を選びます。



※④ ボタンを押すと逆方向に進みます。
※④・② ボタンとも押し続けると早く進みます。

☆RH-のときは血液型(A, B, O, ABのいずれか)を選んだ後に②ボタンを押すと、「+」が点滅します。このとき④または②ボタンを押すと「-」に変わり、RH-を選ぶことができます。(もう一度押すと「+」に戻ります)

(3) 入力を終わる

③ ボタンを押します

→点滅が止まり、入力した血液型を表示します。※点滅表示のまま、2~3分すると自動的に点滅が止まります。

<ご注意> 電池交換後など、データが入力されていないときの血液型は右記のようになります。この表示は「RH-」を表示したのではなく、データ未入力を意味しています。データ未入力のままでは、ご自分のデータと違う血液型だと誤解されることがありますので、ご自分の正確なデータを入力しておくようおすすめいたします。

<生年月日入力>

(1) データを選ぶ

② または④ ボタンを押します

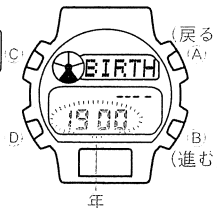
→ 「BIRTH」表示を選びます。



(2) 入力表示にする

③ ボタンを押します

→ 年が点滅します。



② ボタンを押すごとに数字が1つずつ進み、押し続けると早く進みます。逆方向に進めるときは④ ボタンを押します。② または④ ボタンを押して、生まれた年を選びます。

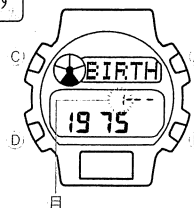
※年は西暦で表示します。1900年から2039年の範囲内で選べます。

(3) 月を入力する

年入力後、② ボタンを押します

→ 月が点滅します。

年と同様に② または④ ボタンを押して生まれた月を選びます。

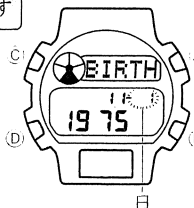


(4) 日を入力する

月入力後、② ボタンを押します

→ 日が点滅します。

年と同様に② または④ ボタンを押して生まれた日を選びます。



(5) 入力を終わる

③ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、入力した生年月日を表示します。

※点滅表示のまま、2~3分すると自動的に点滅が止まります。

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで、時刻・カレンダーが合っていない時は、以下の手順で合わせてください。

時刻の合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードのとき、

◎ボタンを押します

→「秒」が点滅します。

◎「秒」合わせ…±30秒以内の遅れ/進みの調整

時報に合わせて、
◎ボタンを押します

→「00」秒からスタートします。

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分くりあがって「00」秒になります。
(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)

18

(2) ◎ボタンを押します

→◎ボタンを押すと「時」が進みますので、セットしたい時刻を表示させます。

※押し続けると早く進みます。

★「時」のセットのとき午前/午後 (P) にご注意ください。
★基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(3) ◎ボタンを押します

→「分」が点滅します。

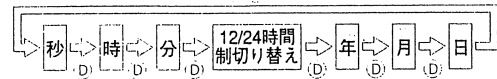
「分」も「時」と同様にして◎ボタンを押して数字を選びます。

※もう一度◎ボタンを押すと「時」が点滅します。

◎「時刻・カレンダー」合わせ

a. ◎ボタンを押します

→点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、◎ボタンを押してセットしたい箇所を選びます。



b. ◎ボタンを押します

→◎ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※◎ボタンは押し続けると早く進みます。

上記a、bの操作を繰り返して「時刻・カレンダー」を合わせます。

(4) セットが終わりましたら、

◎ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。

鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、(A)・(B)・(C)・(D)・(L)ボタンのいずれか1つを押すと、音が止まります。

モニターアラーム

アラームモードのときに(A)ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

※“☼”が点灯しているときは報音と同時に文字板が発光します。



★「時」のセットのとき午前/午後 (P) または24時間制にご注意ください。

★「年」は西暦で1995~2039年の範囲内でセットできます。

★「12/24時間制切り替え」のときは、◎ボタンを押すごとに「12H」↔「24H」と切り替わります。なお、アラーム時刻もここで選んだ時制で表示されます。

★カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。

(2) セットが終わりましたら、

◎ボタンを押します

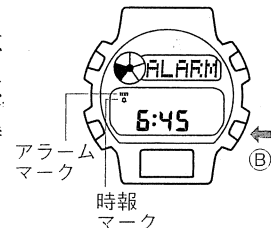
→点滅が止まり、セット完了です。

※点滅表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報のON/OFFの設定

準備：◎ボタンを押してアラームモードにします。

◎ボタンを押すごとに、以下の順でマークが点灯/不点灯します。それぞれのマークが点灯しているときに“ON”となり、アラーム・時報が鳴ります。



アラーム 鳴らない 鳴る 鳴らない 鳴る
時報 鳴らない 鳴る 鳴らない 鳴る

※アラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラーム“ON”に設定されます。

※アラーム・時報が“ON”で、ELバックライトも“ON”(☼点灯)のときは、報音のタイミングに合わせて文字板が発光します。

アラーム・時報の使い方

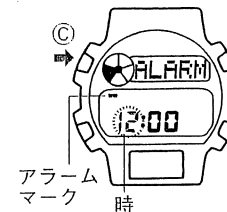
アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

アラーム時刻のセット

準備：◎ボタンを押してアラームモードにします。

(1) ◎ボタンを押します

→「時」が点滅します。
※このときアラームマーク(☼)が点灯します。



ELバックライトON/OFF

ELバックライトON(☼点灯)のとき、アラーム・時報の報音タイミングに合わせて文字板が発光します。

ELバックライトONにするには、時刻・カレンダーモードのとき、◎ボタンを1~2秒間押し続けます。(確認音が鳴り“☼”が点灯します)
※もう一度同じ操作をすると、“☼”が消えてELバックライトOFFになります。



<ご注意>

電子音の報音と発光のタイミングが若干ずれることがあります。故障ではありません。

19

ストップウォッチの使い方

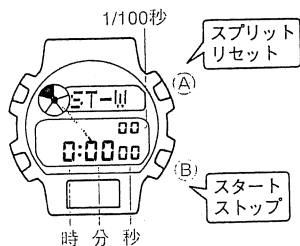
本機のストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。計測時間がこの計測範囲を超えると、以後0に戻って繰り返し計測を続けます。

計測のしかた

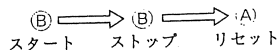
準備: ①ボタンを押してストップウォッチモードにします。

①ボタンを押すごとに計測開始/終了します

※計測中に①ボタンを押すと表示が止まり*、スプリットタイムを表示します。もう一度①ボタンを押すとスプリットが解除されます。
*スプリットタイム表示中でも内部では計測を続けています。



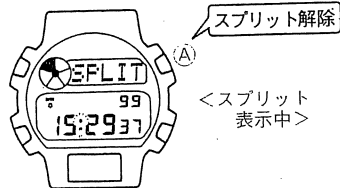
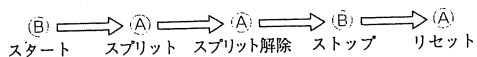
②通常計測



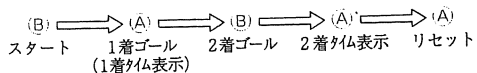
<積算計測>

ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに②ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

③スプリットタイム計測(途中経過時間計測)



④1・2着同時計測



製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz

常温携帯精度: 平均月差±15秒以内

表示方式: FE型液晶デジタル表示

基本機能: 年・月・日・曜日、時・分・秒、午前/午後P/24時間制表示(24H)、フルオートカレンダー(1995~2039年)

Contact code機能: 名前(8文字)と電話番号(12桁)を最大20件*までメモリー自動ソート機能、残りメモリー数表示

ID機能: パスポート(PASSPORT)、免許証(LICENSE)、クレジットカード(CREDIT)などのメモ(最大8文字)と番号(12桁)を最大20件*までメモリー、項目別自動ソート機能、残りメモリー数表示

注*メモリー数は、Contact codeデータとIDデータを合わせて最大20件となります。

Vital statistics機能: 名前(最大20文字)、血液型(ABO式/RH式)、生年月日をメモリー

アラーム機能: 時刻アラーム セット単位=分 電子音=20秒間 時報 毎正時に電子音で報時

ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒

計測範囲=23時間59分59秒99(24時間計)

計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

その他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、エマージェンシーコード表示、デモ表示、EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト点灯
主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI

使用電池: CR-2016(電池別途販売)

電池寿命: 約2年

(電子音20秒間/日、ライト4秒間/日使用した場合)

●ただし、ライト使用条件により、電池寿命が短くなることがあります。

・1日あたり、ライト20秒間(4秒×5回)使用... 約1.2年(約14ヶ月)

・1日あたり、ライト40秒間(4秒×10回)使用... 約0.7年(約8ヶ月)

ご使用上の注意

防水性

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。

防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発生する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けません。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い衝撃を受けても時計には影響ありません。

●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気

●磁気の影響はありません。

薬品類

●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

データ保護について

電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると

●「サビ」

・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。

※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。

・表面はきれいでも、すまみに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」

・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」

・皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

● 最初の電池

● 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

● 消耗

● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

● 電池交換

● 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。

● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

● 電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

ELパネル（表示照明部）の交換について
表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて受け付けます。